



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 26-02

8月号

発行 2023年8月14日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎

クラブ会長主題「温故知人」スローガン「明日に向かって新しい出会いを！」

副会長 松川 厚子

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

会計 吉田 公代

主題 "Let Your Light Shine"

書記 吉野 勝三郎

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(川越)

主題 "Be the light for change"

(変革のために光となろう)

東日本区理事 山田 公平(宇都宮)

主題「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会おう！」

関東東部部長 長尾 昌男(千葉ウエスト)

主題「YMCAとY's協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を！」

8月の聖句

平和の種が蒔かれ
ぶどうの木は実を結び
地は実りをもたらし
天は露を降らせる。
私はこの民の残りの者に
これらすべてのものを受け継がせる。
(ゼカリヤ書 8:12)

"For the seed of peace and the vine will yield its fruit, and the ground will give its increase, and the heavens will give their dew; and I will cause the remnant of this people to inherit all these things."
(Zechariah 8:12)

ってしまい、今の日本に住む私たちには関係のないことになりつつあるような気がする。先日も小学生の子どもたちと話していた時に、彼らにとって戦争は遠い昔の遠い場所での出来事であり、その状況への人々への共感性が薄くなっていると感じた。それはそれで幸せなことであり。平和な良き世界なのかもしれない。ただ、今なお戦時下にある人々への共感性は持ち続けたいと感じる。

2023年8月 例会プログラム(予告・通知)

日 時：2023年8月26日(土) 14:30~16:30

第2回川越ワイズメンズクラブ会長杯 ボウリング大会

<場所> ウニクスボウル南古谷(みなみふるや) 川越市
泉町 1-1 UNICUS南古谷2F(JR 埼京線「南古谷駅」下
車徒歩7分) 049-230-1700

<日時> 2023年8月26日(土) 14:30ボウリング場
集合(15:00開始)

<参加費> 大人:2000円(2G+靴代、保険料) 中高
生:1900円(〃) 小学生:1800円(〃)

川越ワイズメンズクラブ、埼玉 YMCA クロバークラブ
川越との合同企画です。ボウリングの上級者 のみならず、
初心者でも楽しめるようにガータ防止バンパー、ボウリング
滑り台なども用意されています。ワイズの皆様はもちろん、
そのご家族、関係者の方も大歓迎です。ぜひ、ご参加くだ
さい。子ども達には、ワイズメンズクラブから記念品があり
ますので、お楽しみに！ 参加申し込みは8月18日(金)
までに下記へお申込みください。

7月統計(7月24日)

出席者 7名 出席率 78%

巻頭言

「8月と平和」

山本剛史郎

8月は広島・長崎の原爆記念日、終戦記念日と日本にと
って戦争の記憶が著しい月である。世界全体に目を向け
ればウクライナへのロシア侵攻は続いているし、他の地域
でも紛争は絶えない状況である。しかし、それら戦争の記
憶や問題は、文字通り遠い昔の遠い場所での出来事にな

14:30 ボウリング場入口前集合
14:40 パーティールームへ移動(ルール説明・自己紹介)
15:00 第一 ゲーム開始
15:40 第二ゲーム開始
16:20 終了
16:30 表彰式・解散 食事会(参加自由)

7月例会報告

7月22日(土)午後2:00から川越センターで開催されました。報告者 山本剛史郎会長

・参加者:(川越)生川美樹、河合今日子、山崎純子、吉田公代、山本剛史郎、(コメント)山本希歩、山本真和、(埼玉)衣笠輝夫の以上8名

・卓話:衣笠輝夫ワイズ(埼玉クラブ):

「私たちの知らない昆虫の世界」

7月は埼玉クラブの衣笠ワイズに「私たちの知らない昆虫の世界」と題して話をしてもらいました。衣笠ワイズは大きな昆虫好きで、埼玉YMCAでキッズ昆虫教室を行い、何度か話をしてもらったこともあります。まず、アサギマダラとモナークという渡り鳥ならぬ、渡り蝶について映像を見て話してもらいました。アサギマダラは日本の北は蔵王から南は台湾まで約2,000kmを移動する蝶で、そのことから日本では各地で見ることができます。モナークはオオカバマダラという蝶の別名で、カナダ南部からメキシコまで約3,500kmを移動します。衣笠ワイズは YouTuber でもあり、主にキャンプソングの動画を作成して YouTube で公開しており、今回も手作りの動画で説明してくれました。

次にカブトムシ、クワガタムシについて説明してくれましたが、世界にはカブトムシ亜科約500種、クワガタムシ科約1,300種もいるが、日本ではカブトムシ亜科4種、クワガタムシ科39種がいるのみです。衣笠ワイズは昆虫採集、昆虫標本の是非について話されたが、昆虫採集や標本を作ることによって昆虫の生態系を乱すことはなく、その分布や環境について研究する意味もあることを語られていました。現代において、商業的昆虫が売買されていることの方がはるかに問題であるとのことでした。

とあるテレビ番組でもやっていますが、(本来はその地にいないはずの)外来種(外来生物)が(昔からその地に住んでいた)在来種を駆逐してしまう現象がいろいろとみられます。例えばブラックバスやミドリガメなど……。最近、大型量販店でヘラクレスオオカブトやコーカサスオオカブトなどが売られているのを見ます。昔は図鑑でしか見たことがないものですが、今は普通に、しかもそれほど高い値段でなく売られています。そのうち、大量に繁殖して在来種を駆逐したり、生態系を乱したりすると思われます。今回の卓話では、そんなことを考えさせられました。

7月29日(土)午後、東陽町コミュニティーセンターYMCAホールで開催され、川越クラブを代表して、会計の吉田公代メンと参加しましたので、概要を報告いたします。

1. 山本剛史郎会長は、次期関東東部部長として参加されました。
2. 今期の長尾 昌男部長から、
主題「親睦を糧に、クラブライフの充実」
副題「YMCAとY'sの協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を」
との方針が発表されました。
3. 久しぶりのリアルの会合でしたので、参加者の皆さん、生き生きとした感じを受けたのは私だけではないかと思います。
4. 川越クラブからは、メンバー増加が喫緊の課題であることが山本会長から報告されました。又、前期に25周年を迎えたので、一年遅れにはなりますが、来期、山本部長の時に、川越クラブ25周年を覚える企画を考えているとの発表がなされました。



当日の集合写真です。

国際の舞台から “Keiko's Monthly Briefing of YMI/ASP”

ICM2023に参加して

国際議員・アジア太平洋地域会長 利根川恵子

International Council(国際議会)はワイズメンズクラブ国際協会の最高議決機関です。昨年は7月にデンマークのオーフスで開催され、そのご報告をしたところですが、今年度は、アフリカ・ケニアのナイロビで、7月23日から25日まで3日間にわたって開催されました。なぜアフリカ?と思い、国際書記長に聞いてみたところ、28年前に国際議会が開催されて以来、一度もアフリカで行われていないからだそうです。

今回の会場は、4つ星ホテルのSafari Park Hotel & Casinoでした。自然に囲まれた広大な敷地の中に、会議場、レストラン(日本料理も含む各国料理のお店が8軒)、客室、ジム、プール、テニスコートなどが点在している、素晴らしい環境でした。

肝心の国際議会ですが、3日間で39本の議案を協議いたしました。限られた時間の中で、議案によっては国際会長、国際書記長と国際議員の意見が異なり、否決されたものもありました。否決された議案の一つは、各種委員会、タスクフォースのメンバーを承認するというものです。

この議案が否決された理由は、現在インド地域で補助金の横領が取り沙汰されており、その案件に関与しているのではと噂されている人がノミネートされているので、会員の信頼が得られないと判断して、否決しました。しかし、このままでは YMI のさまざまな取組が止まってしまうため、臨時議会を 8 月中旬に開催し、再度委員会・タスクフォースのメンバーを検討することになっています。

議会中にナイロビからティカ市を訪問し、ティカ YMCA に TOF の補助金で竣工した多目的ホールの完成式に参加することができました。アフリカから初めて国際会長になられ、昨年10月にご逝去なされた Benson Wabule 元国際会長(2005/2006年度)のご遺族も駆けつけ、チャーミング次期国際会長から100周年記念メダルが贈呈されました。

その後、ナイロビにもどり、ケニヤ部のホストでディナーがあり、その席上でナイロビ・ゴールデンクラブがチャーターされました。ケニヤ部には9つのクラブがあるそうですが、ナイロビとティカで歓迎してくださったワイズ関係者は、若くて活気があり、アフリカのエネルギーそのもののようでした。アフリカのメンバー数は、登録数は216名ですが、会費納入者数は69名と激減です。(2023年2月現在)アフリカ地域会長が、ワイズメンズクラブの目的には賛同するものの、いざ会費となると引いてしまう人が多いと嘆いていましたが、何とか地域として存続できるように国際全体で支援していかなければと強く感じました。

議会終了後、2泊3日で、ナイロビから車で5時間のところにある、マサイマ王国立保護区のサファリ・ツアーに参加しましたが、これについてはあまりにも感動する場面が多く、長くなりますので、別途。ご報告させていただきます。

また、私を支えてくださる地域執行役員(Area Executive Officers)ですが、直前会長はご存じのように、台湾の Charming Shen さん、次期会長は香港の Joan Wong さん、書記はフィリピンの Mark Tan さん、会計は香港の James Kong さんです。

どうぞよろしくお願いいたします。



国際議会会場となった Safari Park Hotel and Casino の上空からの眺め



チャーミング次期国際会長から100周年記念メダルを受け取る Mary Wabule さんと遺族



ウルリック国際会長の司式で入会式を行ったナイロビ・ゴールデンクラブ

年会費納入のお願い

2023-2024 年度(2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)が始まりました。今年度の会費納入をお願いします。40,000 円です。従来のゆうちょ銀行の口座に変更はありませんが、詳細情報が必要な方は会計担当の吉田公代メに問い合わせして下さい。

YMCA報告

＜夏のプログラムが始まっています＞

7月23日から夏休み特別プログラムとなっています。

仲間やリーダーと過ごす体験は、家族と過ごす経験とはまた違う喜びや楽しみがあります。

8月26日にワイズの方と行うボウリング交流会もみんな楽しみにしています。さて、今年はクローバーのこどもたちが優勝トロフィーを勝ち取ることができるでしょうか。



＜幼児英会話クラス開講＞

6月から埼玉 YMCA 創立50周年記念として行ってきた体験プログラムが、この度9月から新規開講となりました。

YMCA では、先生やお友達と英語の歌や、絵本を通して

たくさんの言葉を覚えます。英語を話すのがとても楽しみになるクラスです。お知り合いの方がいらっしゃいましたらぜひお声がけください。ご紹介キャンペーン実施中

埼玉 YMCA

埼玉 YMCA 創立 50 周年記念プログラム

幼児こども英会話

＼夏の入会キャンペーン実施中！／



曜 日：木曜日
時 間：17:45-18:30
対 象：年少・年長
定 員：3～5名程度
(最少催行人数2名)
講 師：夏野先生
クラス費：6,480円/月

8/1-8/31 入会限定

特典①
入会金 半額
▶3300円
通常 6600円

特典②
特別レッスン受講
▶550円
夏休み特別レッスン
8/24・8/31 17:45-18:30

す！

<休館のお知らせ>

8月13日(日)～16日(水)まで休館となります。
御用の方は、メールでご連絡をお願いいたします。

(編集後記)

今月号の「希望の鐘」を皆さんの協力で発行することができました。感謝です。

過日、88歳で独居する生家の兄を訪ね、3泊してきました。2年前に車の免許を返納し、近隣だけは電動車椅子を使って移動していますが、月に一回の移動健康診断の会場へは、身内に来てもらって車で送り迎えしてもらっているそうです。それでも、週二回のデイサービスは町の車が家の近くまで来てくれるそうで、楽しみにしていました。充実した日本の社会福祉政策の現状を知ることができました。

少子高齢化の日本にあって、自分も遠からず同じような生活パターンになる可能性を感じながら、関越道を自分で運転しながら帰宅しました。

そんな中で、やはり健康の大切さを再認識しました。生涯現役などと強気の自分ですが、やはり老いの身に無理は禁物と自戒しています。8月18日から9月10日までインドに仕事で行って来ます。猛暑・酷暑の日々、皆さんと一緒に芸術・読書・スポーツ・食欲の秋を楽しみにしています。

(K.Y.)